

(仮称)江南区保健福祉総合センター基本構想書

平成23年9月

新潟市江南区

目 次

第1章 基本構想の策定にあたって	2
第2章 施設整備の基本理念	3
第3章 施設の持つ機能、果たす役割	5
第4章 建設地及び施設規模概要	6
第5章 建設スケジュール	8

第1章 基本構想の策定にあたって

江南区の地域福祉の拠点づくりをめざして

(仮称) 江南区保健福祉総合センターの建設について

平成19年4月1日、新たに政令市としてスタートした江南区は信濃川、阿賀野川、小阿賀野川及び通船川に囲まれた亀田郷のおよそ南側半分を占め、旧新潟市地域（曾野木地区、両川地区、大江山地区）と合併市町村地域（亀田地区、横越地区）が混在する行政区です。

(仮称) 江南区保健福祉総合センターは、新潟市の新にいがたまちづくり計画(合併建設計画)後期実施計画(H22～H26)に記載されている建設計画です。施設の概要としては、大人から子どもまで障がいがあってもなくても利用でき、お互いの理解と交流を深め、専門的支援から自主的活動の支援までを行う施設とすることを目的としています。現在ある健康センターの設備も生かしながら隣接地に建設することにより、健康づくり機能、子育て支援機能、障がい者支援機能が総合的に機能し、市民サービス向上につなげるという計画です。

そして、もとは旧亀田町の合併建設計画事業であるこの保健福祉総合センターを、新たに江南区全体の施設として位置づけ、幅広く区民の意見を取り入れながら整備していきます。

江南区では地域福祉の推進をめざし、平成20年度に行政計画である「地域福祉計画」と地域の住民の活動をまとめた「地域福祉活動計画」を、江南区社会福祉協議会や区民と協働しながら座談会や分科会を開催し策定をしました。その江南区地域福祉計画・江南区地域福祉活動計画内において、江南区全体計画の理念として、「みんなで、ささえあい安心して暮らせるまち“江南区”」とし、その基本理念を達成するために5つの基本目標を掲げています。

その中で基本目標3として「場所 身近な地域の「交流の場」、「活動拠点」づくりがあり、(仮称) 江南区保健福祉総合センター建設事業は地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定内容の実現に向けた具体的な取り組みの一つであるといえます。

江南区の市民サービス向上と地域福祉の推進のため、構想策定にあたっては、区民のみなさんと2回のワークショップを行い、先進施設の見学も含めて、施設の機能などについて「区民の思い」を寄せていただきました。新しい施設には、地域活動を支える機能も求められています。また、同時に、地域の枠を超えて高齢者も若者も、障がいのある人もない人も、気楽に立ち寄れる、交流スペースも必要です。今後は、江南区地域福祉の拠点となる施設を目指して、また、区民のみなさんが活動しやすく、利用しやすい施設となるように設計や建設を進めていきます。

第2章 施設整備の基本理念

1. 江南区の地域福祉の目標

政令指定都市移行後、地方分権の方針のもと、江南区では、地域の実情をふまえて江南区の将来像を描き出す「区ビジョンまちづくり計画」をつくりました。その計画を踏まえて、平成21年3月に江南区地域福祉計画・江南区地域福祉活動計画『もっと笑顔でつながって！江南区ふれあい・ささえあいプラン』を策定しました。

少子高齢化が進展し、生活習慣や価値観の多様化により住民相互のつながりが希薄になりつつある今日、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことのできる「地域福祉」を推進することが大きな課題となっています。そして、同じ地域で暮らす住民同士が互いに助け合い、支え合う関係を基本にしながら地域住民、行政、関係団体等が協働して身近な福祉課題に取り組む「地域の仕組みづくり」が必要不可欠となっています。このような仕組みをつくるために、地域福祉計画では地域・民間・区社会福祉協議会・区役所が協働して江南区地域福祉活動に取り組んでいくこととしています。また、「みんなで支えあい安心して暮らせるまち“江南区”」を基本理念とし、五つの基本目標を以下のように掲げています。

【基本理念】

みんなで、ささえあい安心して暮らせるまち“江南区”

基本目標1 【つながり】 地域福祉ネットワークの構築

人と人、活動と活動をつなぐネットワークづくりを進めます。

基本目標2 【情報】 相談体制と適切な情報提供体制づくり

いつでも気軽に相談ができ、必要な人に必要な情報がわかりやすく情報提供できるしくみをつくります。

基本目標3 【場所】 身近な地域の「交流の場」、「活動拠点」づくり

だれもがいつでも気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めます。

基本目標4 【人材】 人材の育成と地域の福祉力向上

だれもが持つ福祉の心を喚起・啓発し、幅広い福祉の活動を広げるしくみをつくり、人材の育成と地域の福祉力を高めます。

基本目標5 【安心】 暮らしの安全確保

災害、犯罪、虐待などの緊急時に対応できるように、「地域のしくみ」づくりを進めます。

2. (仮称) 江南区保健福祉総合センター施設整備の基本理念

(仮称) 江南区保健福祉総合センター（以後福祉センターという）は、江南区地域福祉の目標のもと『地域福祉推進の拠点』、『市民交流・活動の拠点』、『ボランティア活動の拠点』としての3つの機能を持ち、江南区の福祉活動の中核的な役割を担い、市民活動が一層活発になり、安心して暮らせるまちづくりにつながるよう支援していきます。

※ワークショップより

【新・福祉センターの場のイメージ】 ～気軽に利用できる♪～

- 子どもから高齢者まで、障がいがあってもなくても利用できる場所
- いろいろな人たちが楽しめる場所
- ふらっといつでも気軽に行ける場所
- 天井が高く明るいイメージ
- 災害時にも対応できる場所
- 区役所と一体となった場所
- 交通アクセスがよい場所
- 多世代交流ができる空間のある場所
- 福祉の情報発信のできる場所
- ボランティアの拠点となる場所
- 展示スペースがある場所
- 人が気兼ねなく利用できて集まれる場所
- いつでも誰かが居る場所
- 入りやすく来やすい雰囲気のある場所
- 利用者同士が声をかけあえる場所
- コミュニティオアシス
- いろいろな相談ができる場所
- イベントや事業を行いやすい場所
- バリアフリーな場所

第3章 施設の持つ機能、果たす役割

すすめる

『地域福祉推進の拠点』

- 江南区の地域福祉推進に携わる人々の活動を支援し、連携の強化を図る施設とします。
- 多世代交流のためのイベントや事業が展開され、市民のネットワークづくりを応援する施設とします。
- 災害時に避難できる機能を整備します。

つなぐ

『市民交流・活動の拠点』

- 障がいのある人もない人も、子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できて、いろいろな人との出会い・ふれあい・交流の場を支援し人と人とを結びつける施設とします。
- 高齢者同士や障がい者、若い世代との交流の場を提供し、生きがいづくりや仲間づくりができる施設とします。

ささえる

『ボランティア活動の拠点』

- ボランティアの育成や活動拠点として支援する施設とします。
- ボランティアをしたい人、求める人がお互いに情報発信・情報提供をする場となり、結びつくことで活動を活性化させる施設とします。
- 地域を支えあうボランティア活動のネットワークづくりを支援し、育成・推進する施設とします。

第4章 建設地及び施設規模概要

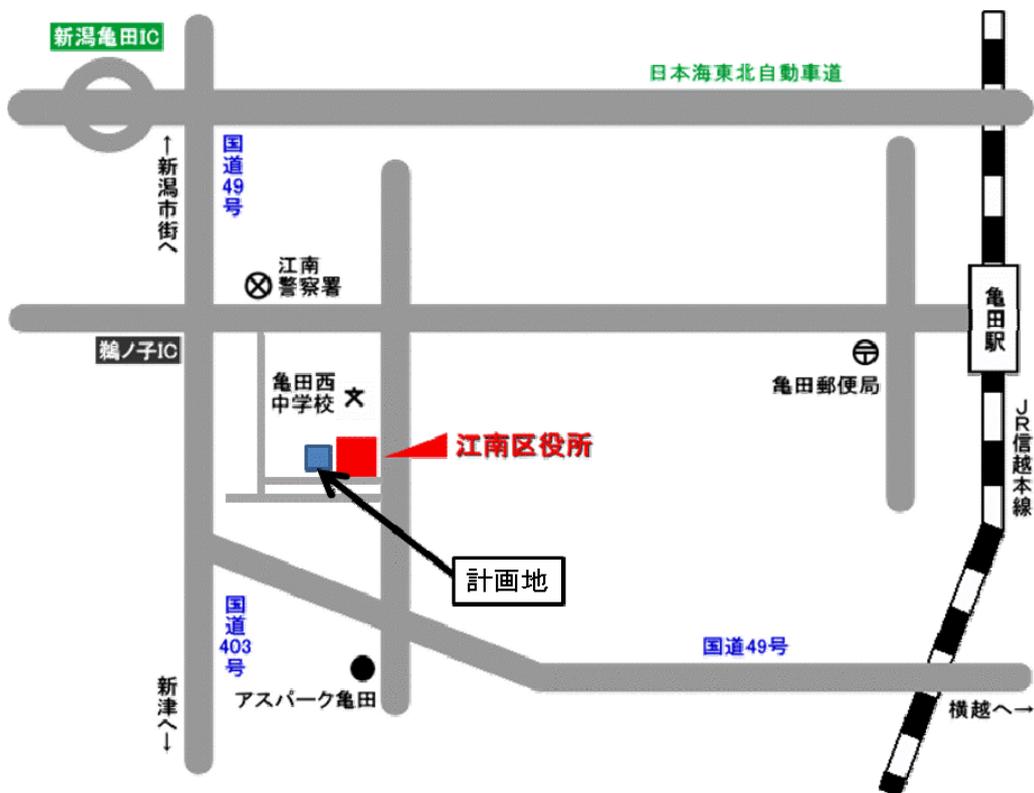
1. 建設地

- 敷地概要 本建設地は、新潟市江南区市街地のほぼ中央に位置し、江南区役所に隣接した敷地です。
- 所在 新潟市江南区泉町3丁目地内【市有地】
- 敷地面積 4,788㎡
- 用途地域 市街化調整区域
容積率 200% 建ぺい率 60%

2. 施設規模概要

- 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- 建物面積 3,289㎡（延床面積）

【計画周辺図】



3. 主な施設内容

本福祉センターの主な機能をまとめました。これらの機能に必要な室は、下表のようになります。

機能・役割	対応する コーナー・部屋	事業内容等
すすめる 地域福祉推進 の拠点	交流ひろば	来館者すべての交流・憩いの広場
	福祉関係共同利用室	福祉関係者の打合せ・作業の場
	地域子育て支援センター	子育て親子の交流、相談、講習（かめっこ広場の移設）
	子どもたちの居場所	子どもが気軽に立ち寄れる居場所
	療育教室	幼児の療育の相談・指導・訓練（らっこルームの移設）
	亀田こども相談室	幼児のことばとこころの相談教室（現施設からの移設）
	江南区社会福祉協議会 相談室	事務室等 福祉に関する相談
つなぐ 市民交流・活 動の拠点	喫茶コーナー	気軽にお茶を飲みくつろげる場・障がい者の就労の場
	授産品ショップ	作業所等製作の授産品を展示・販売
	多目的ホール	レクリエーション、講演会等
	和室	交流、茶の間、発表の場
	交流情報コーナー オープンスペース	保健・福祉関係情報の交換、伝言板 交流できる・外で遊べる場所
ささえる ボランティア 活動の拠点	ボランティアルーム	ボランティア団体の活動場所、ボランティアの養成講座
	情報発信コーナー	ボランティア情報の掲示
研修・会議等	会議室	福祉関係の研修・会議、避難スペース等
その他	倉庫、機械室等	

第5章 建設スケジュールと今後の方向性

建設スケジュールについて、下の表にまとめました。

また、今後の方向性として新しい福祉センターが江南区の地域福祉の拠点となり、多くの区民が利用するようになるためには、「施設」だけでなく「人」が大切であると考えます。そこに行くと「あたたかく出迎えてくれる人がいる、気軽に入れる、誰かとおしゃべりできる、楽しい、元気が出る」そんな福祉センターの活動に関わる人材を育成・支援していきます。

そして、社会福祉協議会と連携し各種ボランティアの育成や地域福祉活動への支援を強化していきます。新しい福祉センターが市民交流・活動の拠点となり、より一層活性化し安心してらせるまちづくりにつながっていくよう支援するとともに、交通アクセスについても働きかけをしていく予定です。

< (仮称) 江南区保健福祉総合センターの建設スケジュール >

年度	実施事項等
平成 23 年度	基本構想検討会 「区民の思い」作成 基本構想作成
平成 24 年度	設計者選定（プロポーザル方式） 基本設計 基本設計説明会 実施設計
平成 25 年度	実施設計説明会 建設工事
平成 26 年度	建設工事 愛称募集 施設完成

(仮称) 江南区保健福祉総合センター基本構想書

平成 23 年 9 月

発行：新潟市江南区

〒950 - 0195 新潟市江南区泉町 3 丁目 4 番 5 号

電話 025 - 382 - 4346

編集：新潟市江南区健康福祉課
